

第1分科会「経営・ビジョン」 運営概要

- 【研究課題】** 創意と活力に満ちた学校経営ビジョンと校長の在り方
【研究の視点】 1 将来を見据えた明確な学校経営ビジョンの策定
2 学校の役割を明確にした創造的な学校経営の推進

I 分科会研究協議の運営計画

<研究の視点1に関わって>

○将来を見据えた明確な学校経営ビジョンを策定していくために校長の果たすべき役割と指導性を究明する

- ・目標実現への具体的な手立てや道筋の明確化
- ・教職員や保護者・地域への働きかけが明瞭に意図されたもの
- ・子どもの未来を見据えた学校経営ビジョンを前面に掲げ、教職員の自信と誇りにつなげる姿勢
- ・未来を切り拓く資質・能力を身につけた子どもを育てるために、責任者として展望をもち、学校経営を推進することが肝要

<研究の視点2に関わって>

○確かな子どもの未来を実現するための学校の果たすべき役割を明確にした学校経営ビジョンを示し、子どもの夢の実現に向けた創造的な学校経営の推進のために校長の果たすべき役割と指導性を究明する。

- ・子どもたちの夢や希望の実現に向け、責任ある学校経営の推進
- ・未来を見据え、広い視野や使命感、高い指導力をもった教職員の育成
- ・社会や人類に貢献できる日本人の育成という学校としてのゆるぎない存在価値の確認

II これまでの成果と課題 ～道小：上川大会から～

【成果】

- ・人材育成のための校内研修の充実と校外研修の参加奨励
- ・設備や予算に関する要望を明確に示した教育環境の充実
- ・明確かつ簡潔な、教職員・保護者・地域住民のだれもが達成したいと思う学校ビジョンの構築
- ・地域・家庭・関係機関との信頼関係の構築、子どもの変容を基盤とした教育活動の成果と課題の伝達の必要性

【課題】

- ・教頭やミドルリーダー育成のための計画的な研修と指導
- ・前例にとらわれないシンプルで風通しのよい組織の再構築と機能化
- ・ビジョンが学校経営に確実に生かされるような発信と検証
- ・地域との積極的な関わり、校種間・関係機関との連携

Ⅲ 研究発表の概要

- ◇研究発表者 士別市立糸魚小学校長 中村 剛 先生
◇発表題 「ふるさとを愛し 未来を拓く子どもを育む
創意と活力ある学校づくりと校長の在り方」

◇発表の要旨

1 明確な学校経営ビジョンの策定と具体的方策

<明確化と重点化>

- ・目標実現への道筋を明確にするため
- ・組織的に対応させるため
- ・方策の具体化に結びつけるため

<職員への浸透>

- ・責任と自覚を促す指導を行うため
- ・個人目標として定着させる指導を行うため
- ・意欲の持続と向上を図る指導を行うため

2 保護者・地域の期待に応える学校経営の推進

<目標・方策の共有>

- ・学校・家庭・地域の連携、協力のため
- ・地域の教育環境を活用するため
- ・内外に開かれた学校づくりのため
- ・学校の応援団を求めたいため

<成果の共有>

- ・学校教育の改善のため
- ・学校と地域の連携・協力体制の確立のため
- ・家庭、地域の教育力向上のため

Ⅳ 協議の流れ

- 1 開会 (5分)
- 2 趣旨説明 (10分)
- 3 研究発表 (25分)
- 4 全体協議 (25分)

※最初の5分で参加者に記録カードに質問や感想を書き込んでもらう。

※質疑の中から、グループ協議におけるキーワードを探り、討議の課題を明確にする。

- 5 休憩 (15分)
- 6 グループ協議 (60分)

討議の柱①	学校経営ビジョンを明確化・重点化し、職員への浸透を図るための校長の指導性
討議の柱②	学校・家庭・地域が「目標・方策・成果」を共有するための校長の役割

- 7 グループ発表 (30分) 8グループ×3分
- 8 協議のまとめと今後の課題 (20分)
- 9 連絡・閉会

(文責： 札幌市立新川小学校 眞田 均)